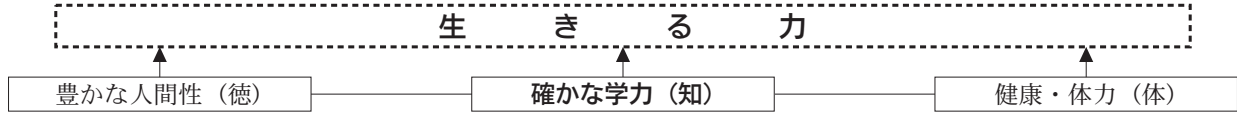


# 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

奥尻町教育委員会では、学校の設置管理者としての説明責任を果たし、今後の施策の改善につなげていくことが大切であることから、上記標題の調査（平成29年4月18日実施）について、その結果を公表することとしました。

新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指しています。



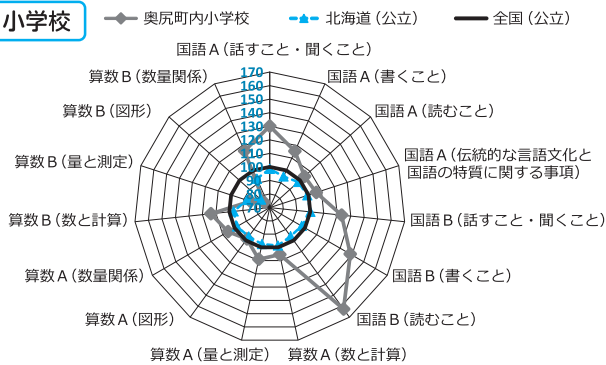
- \* 「生きる力」を、「知・徳・体」のバランスのとれた力としてとらえ、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。
- \* 教育委員会や学校では、今日求められている学力を、知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学ぶ意欲などを含めた学力ととらえています。
- \* 今回の調査結果は、こうした学力の特定の一部分の結果であることに留意してください。
- \* 「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など町全体で子どもたちの教育に取り組むことが重要です。

## 奥尻町内小中学校の状況及び学力向上策（学校数：小学校2校、6年生：10名、中学校1校、3年生15名）

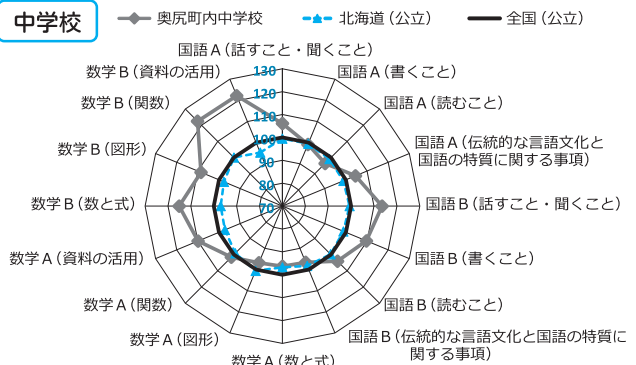
### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び奥尻町の状況をレーダーチャートで示したもの（町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

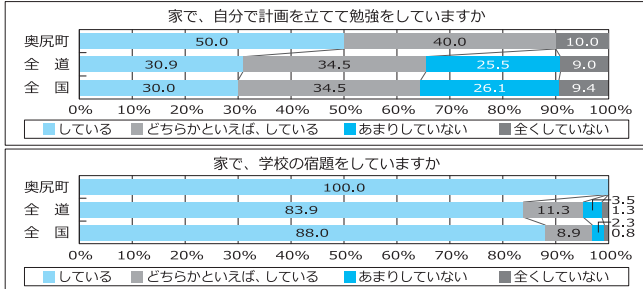
#### 小学校



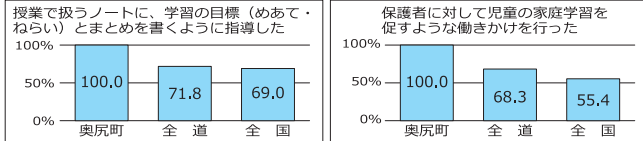
#### 中学校



### 【児童質問紙調査】



### 【学校質問紙調査】



### 【分析】

#### 教科

- 国語A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。
- 算数Aでは「数と計算」「量と測定」「数量関係」、算数Bでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。

#### 児童質問紙

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
- 全ての児童が「家で、学校の宿題をしている」と回答している。

#### 学校質問紙

- 全ての学校が「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。
- 全ての学校が「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。

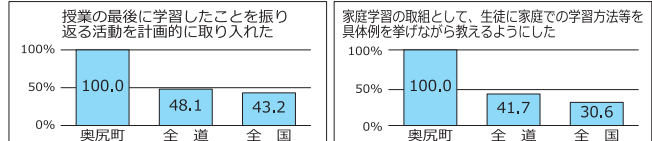
#### まとめ

- 学校が、家庭と連携し、保護者に対して児童の家庭学習を促す働きかけを行ったことにより、家で、自分で計画を立てて勉強したり、宿題をしたりする児童の割合が増えたと考えられる。
- 学校が、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、学習内容の理解と定着に繋がったと考えられる。

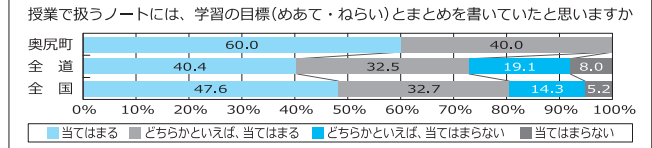
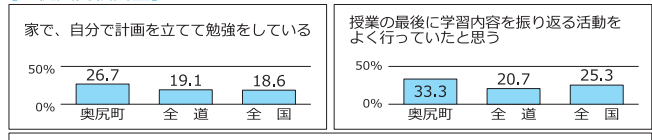
### 【奥尻町の学力向上策】

- ◎家庭との連携による、生活習慣のリズム化や家庭学習の定着化。
- ◎指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す研修機会の確立。
- ◎ICTの効果的活用に関する指定事業の推進・普及。
- ◎放課後や長期休業中における補足的なサポートの実施による、基礎的・基本的な内容の定着を図る取組の充実。

### 【学校質問紙調査】



### 【生徒質問紙調査】



### 【分析】

#### 教科

- 国語Aでは「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。
- 数学Aでは「関数」「資料の活用」、数学Bでは、全ての領域で全国を上回っている。

#### 生徒質問紙

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。

#### 学校質問紙

- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。
- 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしている。

#### まとめ

- 学校が、家庭と連携し、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、家で、自分で計画を立てて勉強する生徒の割合が増えたと考えられる。
- 学校が、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に行なったことにより、学習内容の定着に繋がったと考えられる。